



寺山 さちこ 佐智子さん (齋川市)

「母の味」を加工品に

須賀川市の農家に跡継ぎ娘として生まれましたが、看護師の道を選び、人の部活動」も展開しています。これらと好評で、アメリカまでお届け

結婚して一度は実家を出ました。親の活動は看護師の経験を生かして考えた介護予防のための仕組みです。阿部農縁は、たくさんの方々の元を離れて過ごした10年を改めて両親や、両親が作る農作物、加工品の素晴らしさに気づき、農業に対する私の価値観も変化しました。「母の味を未来につなげては、もったいない」という気持ちで湧き起ります。

就農を決断しました。

2007(平成19)年、それまで働いていた公立病院を退職し、実家の農家を継ぎました。2012年に株式会社「阿部農縁」を立ち上げ、

モモやナシ、イチジク、露地栽培野菜などを作るほか、農産加工品も手掛けています。地域の方が気軽に

訪れ、農作業や加工品作りを行う「大い時に、食たい自分、気軽に食べる人の部活動」も展開しています。これらと好評で、アメリカまでお届けしたこともありました。

阿部農縁では現在、高校生から70代まで、約20人が活動しています。

て働いた後、就農。現在「阿部農縁」の代表取締役。モモや露地栽培野菜、農産物加工品を、県内外のスーパーやサバイブエリア、直売所、インターネット(http://abononon.co.jp/bout)で販売している。県倫理法人会女性委員長、須賀川(さか)高校学生と大学生の2人の娘の母。



母の味を未来に伝えるため、試行錯誤を続ける寺山さん(左)と、母の阿部正子さん(右)

「ふくしま農業女子ネットワーク」(愛称：百笑一姫のFuku)がある)農作物、ネットワーグの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。参加メンバーや応援団となる企業・団体も応募も受け付けています。URLはhttps://www.fuku-girl.jp/ 問い合わせは事務局 電話024(521)7340へ。

ふくしま農業女子ネットワーク
農女ぴよぴよ
Fukuのネットワークのロゴマーク
▼ 18 ▲